

吹田民主商工会 いんぷお め〜しよん

4月前半の相談活動

片山支部 Nさん

介護をしている親族が所有している不動産にどこかの借入による抵当権がついているらしいので調べる方法を教えてほしいと相談がありました。不動産登記の内容は法務局確認できることをお伝えしました。

吹南支部 Iさん

外注先から納品書は届いているが、請求書の発行を催促してもなかなか送ってこないの、消費税の仕入税額控除は納品書のみで認められるか心配との相談があり、該当する国税局のホームページを探してお送りしました。

中央支部 Mさん

いまは労災保険を一人親方特別加入で入っているが、従業員を雇うことになり、一人親方の特別加入のままではいけないと聞いたのでどうしたらいいかとの相談。民商もやっている中小事業主等の事務組合への切り替えをするよう勧めました。

片山支部 Yさん

会費の集金で訪問したところ、お店のガラス扉の調子がおかしいので困っていました。会員の業者さんを紹介。電話して即日で応急措置に来てくれたと喜んでおられました。

あい川支部 Tさん

仕入資金のために融資を必要ということで、セーフティネット制度を申し込みました。金融機関や保証協会と融資の条件交渉になり、民商とも相談しながら進めています。

北支部 Eさん

営業用の車を買う資金を銀行に融資の相談をしたところ試算表の提出を求められました。パソコンに入力している弥生会計で作成できることを伝えました。

安倍9条改憲阻止!

3000万人署名を集めよう

自民党はことしの国会で改憲案を発議し、一気に国民投票にまで持ち込もうとねらっています。「3000万人署名」はこの発議を許さないことを目標にしています。憲法に自衛隊を明記すれば、9条2項の「戦力の不保持」と矛盾します。その場合、「後からつくった法律は前の法律に優先する」という法律の世界の一般原則によって、9条2項が空文化してしまいます。自衛隊は、無制限な海外での武力行使に道が開かれます。国会内では、自民党・公明党と改憲推進派の議席は改憲発議に必要な3分の2を上回っています。しかし、9条改憲を許さない世論と運動が多数派になり、国民投票をしても改憲が通らないという状況を作れば、いくら国会で多数派であっても発議できなくなりません。「9条改憲はやめろ」「安倍やめろ」の世論を3000万人署名とともに広げていきましょう。

吹田市川園町20-1
TEL (06) 6383-2211
FAX (06) 6382-8190
http://www.suita-minshou.com
suita-ms@jasmine.ocn.ne.jp

毎週木曜日の
昼2時・夜7時
なんでも相談会

大商連青年部協議会

「事業計画」作成学習会

4月15日大商連で経営コンサルタント 上品 忍さんを講師で開催されました。

「固定費と変動費の関係」「限界利益(荒利益)とは」「損益分岐点の求め方」「目標利益売上とは?」など自分で商売を見直し経営計画書を作るにあたり基本的な考え方や、実践として「AIDMA」「3C」「SWOT」の分析方法と導入について講義されました。その後、10名程でグループワークを行いました。「自己紹介」「どんな商売、何人である、何が売り、顧客はだれ、ニーズは」「これから何をやる?なんでそれをやる?」をテーマに交流が行われました。講義は知識として、それぞれが今の商売を語り合いました。自分を語る、仲間が共感や質問がどの班も飛び交い活気ある会話が飛び交いました。その後、まとめとして各班の代表者が「これから何をやる」について発表しその度、上品さんから「突っ込んだ質問」と解説がされました。パン製造販売の方の場合、売上げたい↓商品力を上げる↓販売担当(バイト可)製造担当(職人)を採用して育てることを考えていると発表したことに、上品さんからは①様々な課題に対応する「やること」がたくさんですが、全部できないだから「優先順位」を決める②3ヶ月後にどうするかを決める③3ヶ月後に見直しを行う。このとき、大抵の人が「振り返る」ことを忘れていた。「だから忘れることを前提にカレンダーや手帳に記入する等を考える。」「自分を信じない」前提の対応が必要。立派な「計画」より今日より明日と進めてください。と語られました。各グループから3名の方が代表で発言されましたが、全員に共通したことが「人がほしい」でした。この背景は世代別人口の問題ともうすぐ「団塊の世代」の大量退職がくる。特に建設業は一気に担い手が不足する。商売に関わらず「人を採る(育てる)」ところが強くなる。と解説されました。今回、感じたのは初めて会う方同士の会話の話し手も聞き手もすごく熱心であったことです。自分の悩みの解決や共有できることがみなさんの表情を温かくしているようでした。



お買い物は地元市場商店街で・商工業者の繁栄は市民とともに!